

同朋大学学則

第1章 総則

(目的)

第1条 本学は、教育基本法及び学校教育法に基づき、仏教精神、ことに親鸞の同朋精神と聖徳太子の和敬の精神を建学の理念として、広く知識を授け専門の学術を教授研究し、併せて人格を陶冶し、人類文化及び社会福祉に貢献する人間を養成することを目的とする。

文学部は人類の歴史の底を流れる真理の発掘といのちの尊厳を第一義とし、人間を探究する学部で、仏教学科は、仏教に関する教養を広く学びつつ、親鸞の教えに、人間として生きる道を尋ねることを目的とし、人文学科は、文学・文化を学ぶことによって、真の人間の探究と発見及び自己の生き方を学ぶことを目的とする。社会福祉学部社会福祉学科は、豊かな教養を培って人間と社会に関する真理を探究し、社会福祉及び関連分野に関する専門的知識と技能を修得して、共に生きがいのある社会の実現に寄与する人間を養成することを目的とする。

(自己点検・評価)

第2条 前条の目的及び社会的使命を達成するために、本学における教育研究活動等の状況について、包括的で客観的な自己点検・評価を定期的に行い、その教育研究活動の向上を図るものとする。

2 前項の自己点検・評価を行う組織・規程については、別にこれを定める。

第2章 組織

(学部・学科・第3年次編入学定員・入学定員)

第3条 本学において設置する学部・学科及びその収容定員は、次のとおりとする。

学 部	学科・専攻	入学定員	第3年次編入学定員	収容定員
文 学 部	仏教学科	20名	—	80名
	人文学科	50名	—	200名
社会福祉学部	社会福祉学科	190名	10名	780名
	社会福祉専攻	130名		
	子ども学専攻	60名		

2 本学大学院に次に掲げる研究科を置く。大学院に関する規程は別に定める。

(1) 文学研究科（博士前期課程・博士後期課程）

(2) 人間福祉研究科（修士課程）

3 本学に別科（仏教専修）を置き、入学定員を30名とする。別科については、以下の条項に関して別に定めるところによるものとし、特に定めのないものについては、本学則によるものとする。

(施設)

第4条 本学に次の各号の施設を置き、その規則・規程については、別にこれを定める。

(1) 研究室・教室

(2) 体育館・運動場

- (3) 図書館
- (4) 福利厚生施設（健康管理室・食堂）
- (5) 研修施設（知文会館）
- (6) 仏教文化研究所
- (7) “いのちの教育”センター
- (8) その他

第3章 教職員組織

（教職員）

第5条 本学に次の各号の教職員を置く。

- (1) 学長
 - (2) 教育職員（教授・准教授・講師・助教・助手）
 - (3) 事務職員（部長・部長補佐・事務部長・課長・主事・書記・図書館長・図書館長補佐・司書・司書補）
- 2 学長は副学長を置くことができる。
- 3 教育職員の職制は次のとおりとする。
- (1) 教授は、専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の特に優れた知識、能力及び実績を有する者であつて、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。
 - (2) 准教授は、専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する者であつて、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。
 - (3) 講師は、教授又は准教授に準ずる職務に従事する。
 - (4) 助教は、専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の知識及び能力を有する者であつて、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。
 - (5) 助手は、その所属する組織における教育研究の円滑な実施に必要な業務に従事する。
- 4 学長、事務職員の職制等は、別にこれを定める。

第4章 教授会

（連合教授会）

第6条 本学に連合教授会を置く。

（連合教授会の構成）

第7条 連合教授会は、文学部及び社会福祉学部の教授・准教授及び専任講師をもって組織し、必要に応じ適当と認める者を会議に出席させ、意見を聞くことができる。

（連合教授会の招集・運営）

第8条 連合教授会は学長が招集する。ただし、構成員の4分の1以上の者から招集の請求があるときは、学長はこれを招集しなければならない。

2 議長は、その構成員の中から選出された者が務める。

（連合教授会の審議事項等）

第9条 連合教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

- (1) 学生の入学、卒業及び課程の修了
- (2) 学位の授与

- (3) 前二号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの
- 2 連合教授会は、前項に規定するもののほか、学長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長の求めに応じ、意見を述べることができる。
 - 3 連合教授会は、必要に応じて委員会を設けることができる。
 - 4 連合教授会は、構成員の3分の2以上の出席をもって成立する。
 - 5 連合教授会の決議は多数決とし、可否同数のときは議長の裁決をもって定める。

第5章 学年・学期及び休業日

(学年・学期)

第10条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

- 2 学年を分けて次の2学期とする。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

(休業日)

第11条 本学における休業日は、次の各号のとおりとする。

- (1) 日曜日
 - (2) 国民の祝日に関する法律に定める祝日
 - (3) 創立記念日 6月13日
 - (4) 宗祖正忌 11月28日
 - (5) 夏期休業、冬期休業、春期休業
- 2 学長は、連合教授会の議を経て、前項(5)の期間を定め、同行(1)から(4)までの休業日を変更又は臨時の休業日を定めることができる。

(授業日時数)

第12条 1年間に授業を行う期間は、試験等の日時を含め年間35週を原則とする。

第6章 修業年限及び在学年限

(修業年限)

第13条 本学の修業年限は、4年とする。

(在学年限)

第14条 学生は、8年を超えて在学することはできない。ただし、編入学した学生は定められた修業年数の2倍に相当する年数を超えて在学することはできない。なお、再入学者に関する事項については、別に定める。

第7章 教育課程

(開設授業科目)

第15条 本学の授業科目は、次のとおりとする。

- (1) 文学部は、学科専攻科目と教養共通科目
 - (2) 社会福祉学部は、専門教育科目（専門基礎科目、専門基幹科目）と教養共通科目
- 2 教育課程は、各学科とも、各授業科目を必修科目、選択科目、自由科目に分け、これを各年次に配当して編成する。

3 第1項の授業科目及び単位数は、別表Iのとおりとする。

4 前項の授業科目・単位数に基づき、毎学年度、開設する開講科目をその学年度の始めに告示する。

(卒業単位数)

第16条 本学を卒業するためには、次の単位表に基づき 124単位以上を修得しなければならない。

文学部 単位表

科目群			学部・学科		文学部	
					仏教学科	人文学科
学科専攻科目	必修科目	講義	12	36	8	32
		基礎演習	8		8	
		演習	8		8	
		卒業課題	8		8	
	選択科目		26以上		26以上	
小計		62以上		58以上		
教養共通科目	必修科目	宗教科目	4	14	4	14
		外国語科目	6		6	
		キャリア教育	4		4	
	選択科目		16以上		16以上	
	小計		30以上		30以上	
自由科目 ※他学部・他学科・他専攻から自由科目として認められているものを選択			自由			
卒業に必要な単位数			124以上			

社会福祉学部 単位表

科目群			学科・専攻		社会福祉学科	
					社会福祉専攻	子ども学専攻
専門教育科目	専門基礎科目	必修	10		10	
		必修	8		36	
	専門基幹科目	選択	66以上		38以上	
		計	74以上		74以上	
小計		84以上		84以上		
教養共通科目	宗教科目	必修	4	14	4	14
	外国語科目		6		6	
	キャリア教育		4		4	
	教養科目	選択	16以上		16以上	
	小計		30以上		30以上	
自由科目 ※他学部・他学科・他専攻から自由科目として認められているものを選択			自由			
卒業に必要な単位数			124以上			

- 2 各学部単位表の自由科目は、所属学科・専攻以外の授業科目及び各種資格課程科目のうち、自由科目として指定された科目を履修要件に従って履修するものとする。ただし、各種資格科目の卒業要件科目ではない単位は、卒業単位に算入できない。

(単位の計算方法)

第17条 各授業科目の単位計算方法は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することとし、授業時間外に必要な時間を考慮して、次の各号の基準により計算するものとする。

- (1) 講義・演習については、15時間の授業をもって1単位とする。ただし、外国語科目については、30時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間の範囲内で定める授業をもって1単位とする。
- (3) 論文指導、卒業論文等の授業科目については、学修の成果を評価して所定の単位数を授与する。

(資格：教職課程)

第18条 教員免許状の資格を得ようとする者は、第16条に定める卒業要件を充足し、かつ教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める科目及び単位を修得しなければならない。

- 2 本学において取得できる教員の免許状の種類は、次の表に掲げるとおりとする。

学部・学科	免許状の種類
	免許状 (免許教科)
文学部 仏教学科	中学校教諭一種免許状 (宗教) 高等学校教諭一種免許状 (宗教)
文学部 人文学科	中学校教諭一種免許状 (国語) 高等学校教諭一種免許状 (国語) 中学校教諭一種免許状 (社会) 高等学校教諭一種免許状 (地理歴史)
社会福祉学部 社会福祉学科 社会福祉専攻	中学校教諭一種免許状 (社会) 高等学校教諭一種免許状 (公民) 高等学校教諭一種免許状 (福祉) 特別支援学校教諭一種免許状
社会福祉学部 社会福祉学科 子ども学専攻	幼稚園教諭一種免許状

- 3 前項の教員免許状の資格を得るためには、本学においては、別表Ⅱの授業科目・単位を修得しなければならない。

- 4 幼稚園教諭一種免許状の資格を得るためには、社会福祉学部社会福祉学科子ども学専攻に所属し、別表Ⅲの授業科目・単位を修得しなければならない。

(資格：保育士課程)

第19条 社会福祉学部社会福祉学科の学生で、保育士の資格を取得しようとする者は、第16条に定める卒業要件を充足し、かつ児童福祉法並びに児童福祉法施行規則に定める科目及び単位を修得しなければならない。なお、履修定員は1学年70名、総定員280名とする。

- 2 前項の保育士の資格を得るためには、本学においては、別表Ⅳの授業科目・単位を修得しなければならない。

(資格：真宗大谷派教師課程)

第19条の2 真宗大谷派に僧籍を有し、卒業後、教師及び学階の授与を希望する者は、第16条に定める卒業要件を充足し、かつ真宗大谷派教師条例並びに真宗大谷派教師条例施行条規に定める科目及び単位を修得しなければならない。

2 前項の真宗大谷派の教師及び学階の授与を受けるためには、本学においては、別表Vの授業科目・単位を修得しなければならない。

(資格：精神保健福祉士受験資格課程)

第19条の3 社会福祉学部社会福祉学科の学生で、精神保健福祉士受験資格を取得しようとする者は、第16条に定める卒業要件を充足し、かつ精神保健福祉士法に定める科目及び単位を修得しなければならない。なお、履修定員は1学年30名、総定員120名とする。

2 前項の資格を得るためには、本学においては、別表VIの授業科目・単位を修得しなければならない。

(資格：学芸員課程)

第19条の4 本学において学芸員となる資格を得ようとする者は、第16条に定める卒業要件を充足し、かつ博物館法及び同法施行規則に定める科目及び単位を修得しなければならない。

2 前項の資格を得るためには、本学においては、別表VIIの授業科目・単位を修得しなければならない。

(資格：社会教育主事課程)

第19条の5 本学において社会教育主事となる資格を得ようとする者は、第16条に定める卒業要件を充足し、かつ社会教育法及び同法施行規則に定める科目及び単位を修得しなければならない。

2 前項の資格を得るためには、本学においては、別表VIIIの授業科目・単位を修得しなければならない。

(資格：介護福祉士受験資格課程)

第19条の6 社会福祉学部社会福祉学科の学生で、介護福祉士受験資格を取得しようとする者は、第16条に定める卒業要件を充足し、かつ社会福祉士及び介護福祉士法に定める科目及び単位を修得しなければならない。なお、履修定員は1学年40名、総定員160名とする。

2 前項の資格を得るためには、本学においては別表IXの授業科目・単位を修得しなければならない。

(資格：社会福祉士受験資格課程)

第19条の7 社会福祉学部社会福祉学科の学生で、社会福祉士受験資格を取得しようとする者は、第16条に定める卒業要件を充足し、かつ社会福祉士及び介護福祉士法に定める科目及び単位を修得しなければならない。

2 前項の資格を得るためには、本学においては、別表Xの授業科目・単位を修得しなければならない。

第8章 履修方法・単位認定・評価及び進級・卒業

(履修登録)

第20条 学生は、毎学年度履修しようとする授業科目を、所定の期間内に届出をしなければならない。

(単位認定)

第21条 各授業科目の単位認定は、試験によるものとする。

2 試験の時期は、原則として各学期講義期間終了時とする。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第22条 学長は、教育上有益と認めるときは、学生が他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、連合教授会の議を経て、60単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定は、学生が、外国の大学又は短期大学に留学する場合及び外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合について準用する。

(大学以外の教育施設等における学修)

第23条 学長は、教育上有益と認めるときは、連合教授会の議を経て、学生が短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目とみなし、単位を与えることができる。

2 前項により与えることができる単位は、前条により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位数の認定)

第24条 学長は、教育上有益と認めるときは、連合教授会の議を経て、学生が入学前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位(科目等履修により修得した単位を含む。)を、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 学長は、教育上有益と認めるときは、連合教授会の議を経て、学生が本学に入学する前に行った第23条第1項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 前2項により修得したものとみなし、また与えることができる単位数は、編入学、転入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第22条及び第23条第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(本学以外での履修の許可)

第25条 本学学生で、第22条及び第23条に定める大学等で授業科目の履修を希望する者は、連合教授会の議を経て学長の許可を得なければならない。

(本学以外で修得した科目及び単位の取り扱い)

第26条 本学以外で修得した科目及び単位の取り扱いに関する詳細は、別に定める。

(成績評価)

第27条 成績の評価は、S A B C Dをもって表わし、S A B Cを合格、Dを不合格とする。

2 合格の評価を得た者には、その授業科目所定の単位を与える。

(追試験)

第28条 正当な事由により受験できなかった者には、所定の手続きの上、定められた期間内に限り、追試験を行うことがある。

(再試験)

第29条 不合格となった授業科目について、再試験を行うことがある。

(進級)

第30条 各年次に進級の基準を設け、これに達しない者は、進級を認めない。

2 進級基準に関する事項は、別にこれを定める。

(卒業)

第31条 4年以上在学し、第16条に定める所定の単位を修得した者には、学長は連合教授会の

議を経て学長が卒業を認定する。

2 学長は、卒業を認定された者に対して卒業証書・学位記を授与する。

(学位)

第32条 本学文学部・社会福祉学部卒業者の学位は、文学部においては学士（文学）、社会福祉学部においては学士（社会福祉学）とする。

第9章 入学

(入学の時期)

第33条 入学の時期は、毎学年度の始めとする。

(入学資格)

第34条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一つに該当する者とする。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で、文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が、高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であつて、当該者をその後に入學させる大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (9) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者

(入学の出願)

第35条 入学志願者は、指定期日までに本学の規定書式に従い、別表XIIに定める入学検定料を添えて、願書を提出しなければならない。

(入学志願者の選考)

第36条 入学志願者の選考は、調査書、学科試験等によって行う。

2 試験の科目・その他必要事項は、適当な時期に告示する。

(再入学)

第37条 本学を卒業した者が再び本学に入学を希望するときは、欠員のある場合に限り選考の上、再入学を許可することがある。

2 再入学の許可を受けた者の本学における修業年数及び既に取得した単位の認定は、学部教授会の議を経て、学長が決定する。

(編入学・転入学)

第38条 他大学(短期大学等を含む。)から本学に編入学又は転入学を志願する者があるときは、

欠員のある場合に限り、選考の上、編入学・転入学を許可することがある。

- 2 編入学・転入学の許可を受けた者の本学における修学年数及び他大学において、既に取得した単位の取扱いは、別に定める規程により連合教授会の議を経て学長が決定する。
- 3 学長は、学生が本学に入学する以前及び在学中に修得した単位等を、教育上有益と認めるときは、連合教授会の議を経て、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

(3年次編入学・転入学)

第38条の2 次の各号の一つに該当する者で、本学の第3年次に編入学・転入学を志願する者があるときは、選考の上、入学を許可する。

- (1) 大学を卒業した者
 - (2) 短期大学を卒業した者（外国の短期大学、我が国における外国の短期大学相当として指定された学校を含む。）
 - (3) 高等専門学校を卒業した者
 - (4) 専修学校の専門課程のうち文部科学大臣の定める基準（修業年限が2年以上、総授業時間が1,700時間以上）を満たす課程を修了した者
 - (5) 大学に2年以上在学し、62単位以上修得した者（転入学）
 - (6) その他、本学において個別入学資格審査により上記の者と同等以上の学力があると認められた者
- 2 前項により入学を許可された者の、既に履修した授業科目及び単位の認定に関する事項は、別に定める。

(入学手続)

第39条 第36条、第37条第1項、第38条第1項並びに第38条の2の選考の結果、入学の許可を受けた者は、所定の期間までに保証人2名連署の在学誓約書及び入学金を納めなければならない。

- 2 入学を許可された者が前項に定める手続を行わないときは、入学許可はその効力を失う。
- (保証人)

第40条 保証人は、学生にかかる責任を負う者2名とし、1名は保護者、他1名は名古屋市近郊在住者で、本学が適当と認めた者とする。

- 2 保証人が、改姓名・転居・改印等をしたときは、直ちにその旨を届出なければならない。
- 3 保証人が、死亡その他の事由によって、その責任を尽すことができないときは、新たに保証人を定め、直ちに在学誓約書を再提出しなければならない。

第10章 休学・退学・転学・転学部・転学科及び除籍

(休学)

第41条 疾病その他の事由で3か月以上の就学を中止しようとするときは、所定の書式に従い、その事由を願い出て学長の許可を受け、休学することができる。

- 2 休学期間は、第14条の在学年数に算入しない。
- 3 休学期間内でもその事由がなくなったときは、学長は、願いによって復学を許可することがある。
- 4 休学期間中の学納金については、別にこれを定める。

(退学)

第42条 疾病等その他の事由によって退学しようとするときは、医師の診断書又は詳細な事由書を添え、所定の様式により保証人連署の上、退学を願い出て学長の許可を受けなければならない。

2 前項により退学許可を受けた者が復学を願い出たときは、学長は連合教授会の議を経て復学を許可することがある。

3 本学に1年以上在学し、退学の許可を受けた者には、願いによってその履修した科目及び在学期間を証明する。

(転学)

第43条 本学の学生が他の大学へ転学しようとする場合は、第42条に従い、学長の許可を受けなければならない。

(転学部・転学科)

第44条 本学内において、他の学部若しくは学科への転学部・転学科を希望する者があるときは、選考の上、学長は、転学部・転学科を許可することがある。

2 転学部及び転学科に関する規程は、別にこれを定める。

(除籍)

第45条 学長は、学生が次の各号の一つに該当するときは、除籍する。

(1) 授業料等の学納金の納付を怠り、督促してもなお納付しない者

(2) 第14条に定める在学年限を超えた者

(3) 休学期間が連続して2年、通算して4年を超えた者

(4) 同一年次に3年間留まって、なおかつ進級できない者

(5) その他、別に定める規程に該当する者

2 前項第1号により除籍された者が、復学を願い出たとき、学長は、連合教授会の議を経て復学を許可することがある。

3 本学に1年以上在学し、除籍された者には、願いによってその履修した科目及び在学期間を証明する。

第11章 賞罰

(表彰)

第46条 学生で他の学生の模範となる行為があったときは、これを表彰することがある。

(懲戒)

第47条 学生としての本分に悖る行為のあったときは、これを懲戒する。

2 懲戒は、訓戒・謹慎・停学・退学とする。

(退学の基準)

第48条 前条の退学は、次の各号の一つに該当する者に対して命ずる。

(1) 性行不良で、改善の見込みがないと認められる者

(2) 学力劣等で、成業の見込みがないと認められる者

(3) 正当な理由がなく、出席が常でない者

(4) 学内の秩序を乱し、その他学生の本分に反したと認められる者

第12章 学納金

(学費)

第49条 学生は、学費を指定された期日までに納入しなければならない。

2 学費とは、入学金・授業料及び教育充実費をいい、その額は、別表XIのとおりとする。

(その他の諸費)

第50条 実習費、その他教育に必要な費用を徴収することがある。

(既納金の返還)

第51条 第49条、第50条の納入金は、原則として返還しない。

第13章 科目等履修生・聴講生及び研究生

(科目等履修生)

第52条 本学における授業科目のうち、特定の授業科目の履修及び単位の修得を希望する者があるときは、本学の教育に支障のない限り、選考の上、科目等履修生としてこれを許可することがある。

2 科目等履修生には、本学則第21条・第22条の規定を準用して、履修した授業科目の単位を与えることができる。

3 科目等履修生の検定料、履修料、その他必要な事項は別に定める。

(単位互換履修生)

第52条の2 本学と単位互換協定を締結している大学の学生で、所属大学で許可された者が授業科目の履修を希望する場合、本学の教育に支障のない限り、選考の上、単位互換履修生としてこれを許可することができる。

(聴講生)

第53条 本学における授業科目のうち、1科目又は数科目を選択して聴講を希望する者があるときは、本学の教育に支障のない限り、選考の上、聴講生として聴講を許可することがある。

2 聴講生に関する規程は、別にこれを定める。

(研究生)

第53条の2 本学において、ある特定のテーマについて研究を希望する者があるときは、本学の教育研究に支障のない限り、研究生としてこれを許可することがある。

2 研究生に関する規程は、別にこれを定める。

第14章 外国人留学生

(外国人留学生)

第54条 外国人留学生として、正規留学生と外国人特別生をおく。

2 外国人留学生に関する規程は、別にこれを定める。

第15章 同朋学会及び公開講座

(同朋学会)

第55条 本学に、学部学科に関連する諸般の研究及び発表を目的とする同朋学会を置く。

2 同朋学会の会則は、別にこれを定める。

(公開講座)

第56条 必要に応じて公開講座を設け、学生並びに一般市民の教養に資することがある。

附 則

本学則は、昭和25年4月1日からこれを施行する。

附 則

本学則は、昭和33年2月16日からこれを施行する。

附 則

本学則は、昭和33年3月10日からこれを施行する。

附 則

本学則は、昭和39年1月11日からこれを施行する。

附 則

本学則は、昭和39年4月1日からこれを施行する。

附 則

本学則は、昭和41年4月1日からこれを施行する。

附 則

本学則は、昭和43年4月1日からこれを施行する。

附 則

本学則は、昭和44年9月1日からこれを施行する。

附 則

本学則は、昭和47年4月1日からこれを施行する。ただし、昭和46年度以前に入学した者は、第33条にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

本学則は、昭和48年4月1日からこれを施行する。

附 則

本学則は、昭和50年4月1日からこれを施行する。ただし、昭和49年度以前に入学した者は、第33条にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

本学則は、昭和55年4月1日からこれを施行する。

附 則

本学則は、昭和58年4月1日からこれを施行する。ただし、昭和56年度以前に入学した者は、第16条、第18条、第19条にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

本学則は、昭和60年4月1日からこれを施行する。ただし、昭和59年度以前に入学した者は、第16条、第18条、第19条にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

本学則は、昭和61年4月1日からこれを施行する。ただし、第3条第1項の規定にかかわらず、昭和61年度から平成8年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 部 ・ 学 科	入学定員
文 学 部 仏教文化学科	40名
	日本文学科
社会福祉学部 社会福祉学科	100名

附 則

本学則は、昭和63年4月1日からこれを施行する。

附 則

本学則は、平成元年4月1日からこれを施行する。

附 則

本学則は、平成2年4月1日からこれを施行する。ただし、平成元年度以前に入学した者は、第18条にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

1. この学則は、平成3年4月1日からこれを施行する。ただし、平成元年度以前に入学した者は、第18条にかかわらず、なお従前の例による。
2. 第3条第1項の規定にかかわらず、平成3年度から平成11年度までの間の社会福祉学部社会福祉学科の入学定員は150名とする。

学 部 ・ 学 科	入学定員
社会福祉学部 社会福祉学科	150名

附 則

この学則は、平成3年12月1日からこれを施行する。

附 則

この学則は、平成4年4月1日からこれを施行する。ただし、平成3年度以前に入学した者は、第19条及び第19条の2にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成5年4月1日からこれを施行する。

附 則

この学則は、平成6年4月1日からこれを施行する。ただし、文学部仏教学科及び国文学科は、本学則第3条第1項の規定にかかわらず、平成6年3月31日に当該学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

附 則

この学則は、平成7年4月1日からこれを施行する。

附 則

この学則は、平成8年4月1日からこれを施行する。

附 則

この学則は、平成9年4月1日からこれを施行する。ただし、第3条第1項の規定にかかわらず、平成9年度から平成11年度までの間の文学部仏教文化学科及び日本文学科の入学定員は、次のとおりとする。

学 部 ・ 学 科	入学定員
文 学 部 仏教文化学科	40名
日本文学科	60名

附 則

この学則は、平成10年4月1日からこれを施行する。

附 則

この学則は、平成11年4月1日からこれを施行する。

附 則

この学則は、平成12年4月1日からこれを施行する。ただし、第33条第1項の規定は、平成11年7月1日から適用する。

附 則

この学則は、平成13年4月1日からこれを施行する。

附 則

この学則は、平成14年4月1日からこれを施行する。ただし、第19条の4の規定は、平成13年度入学生から適用する。

附 則

この学則は、平成14年9月18日からこれを施行する。

附 則

この学則は、平成15年4月1日からこれを施行する。

附 則

この学則は、平成16年4月1日からこれを施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成17年4月1日からこれを施行する。ただし、文学部日本文学科は、学則第3条第1項の規定にかかわらず、平成17年3月31日に該当学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 2 平成16年度以前に文学研究科修士課程に入学した者は、第3条第2項の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 平成16年度以前に文学部仏教文化学科に入学した者は、第15条から第18条までの規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 平成16年度以前に文学部日本文学科に入学した者は、第15条から第18条までの規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 平成16年度以前に社会福祉部社会福祉学科に入学した者は、第15条から第18条までの規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成18年4月1日からこれを施行する。ただし、平成17年度以前に社会福祉学部社会福祉学科に入学した者は第19条第1項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成19年4月1日からこれを施行する。ただし、平成18年度以前に入学した者は、第15条から第18条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成20年4月1日からこれを施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成21年4月1日からこれを施行する。ただし、文学部仏教文化学科、文学部人間文化学科及び社会福祉学部社会福祉学科幼児福祉専攻は、学則第3条第1項の規定にかかわらず、平成21年3月31日に該当学科・専攻に在学する者が、当該学科・専攻に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 2 平成20年度以前に文学部仏教文化学科、文学部人間文化学科及び社会福祉学部社会福祉学科に入学した者は、第15条から第18条までの規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成22年4月1日からこれを施行する。

附 則

この学則は、平成23年4月1日からこれを施行する。ただし、平成22年度以前入学生については、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成24年4月1日からこれを施行する。ただし、平成23年度以前入学生については、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成25年4月1日からこれを施行する。ただし、平成24年度以前入学生については、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成26年4月1日からこれを施行する。ただし、平成25年度以前入学生については、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成27年4月1日からこれを施行する。第27条については、平成27年度入学生より適用するが、2年次編入の場合は平成28年度入学生より、3年次編入の場合は平成29年度入学生より適用する。また、平成26年度以前入学生については、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成28年4月1日からこれを施行する。ただし、別表Ⅰ(1)教育科目、別表Ⅱ(3)教科に関する科目、及び別表Ⅶは、平成27年度以前入学生については従前の例による。

別表 I

(1) 教育科目

①文学部仏教学科 教育科目

区 分		授 業 科 目	単 位		
学 科 専 攻 科 目	必 修	真 宗 学 概 論 I	2		
		真 宗 学 概 論 II	2		
		仏 教 学 概 論 I	2		
		仏 教 学 概 論 II	2		
		教 化 学 概 論 I	2		
		教 化 学 概 論 II	2		
	目	演 習	基 礎 演 習 I	2	
			基 礎 演 習 II	2	
			基 礎 演 習 III	2	
			基 礎 演 習 IV	2	
			真 宗 学 演 習 I	2	
			真 宗 学 演 習 II	2	
			真 宗 学 演 習 III	2	
			真 宗 学 演 習 IV	2	
			仏 教 文 化 演 習 I	2	
			仏 教 文 化 演 習 II	2	
			仏 教 文 化 演 習 III	2	
			仏 教 文 化 演 習 IV	2	
			卒 業 課 題	論 文 指 導	2
				卒 業 論 文	6

区 分		授 業 科 目		単位	
学 科 専 攻 科 目	選 科	講 義	真宗学講義	真 宗 史 I	2
				真 宗 史 II	2
				七 祖 教 義 I	2
				七 祖 教 義 II	2
				和 讃 I	2
				和 讃 II	2
				蓮 如 論	2
				清 沢 満 之 論	2
				キリスト教神学 I	2
	キリスト教神学 II	2			
	専 攻 科 目	講 義	仏教文化講義	仏 教 経 典 史	2
				仏 教 経 典 学	2
				仏 教 史 (イ ン ド)	2
				仏 教 史 (中 国)	2
				仏 教 史 (日 本)	2
				ア ジ ア 仏 教 思 想	2
				仏 教 と 平 和	2
				仏 教 と 人 権 I	2
				仏 教 と 人 権 II	2
唯 識 の 心 理 学 I				2	
唯 識 の 心 理 学 II	2				
目	講 義	ビハーラ講義	死 生 学 概 説	2	
			仏 教 と 生 命 倫 理	2	
			仏 教 と ビ ハ ー ラ 医 療	2	
			仏 教 と 福 祉	2	
			ホ ス ピ ス ・ ケ ア 論	2	
			臨 床 心 理 学 I	2	
			仏 教 カ ウ ン セ リ ン グ	2	

区 分		授 業 科 目		単 位	
学 科 専 攻 科 目	選 択	講 義	総合文化講義	インド哲学	2
				インド文化	2
				インド現代事情	2
				中国思想	2
				中国文化史	2
				中国現代事情	2
				日本文化史（思想史）	2
				日本文化史（民俗学）	2
				アジア文化	2
				アジア現代事情	2
				欧州現代事情	2
				仏教文学	2
	仏教美術	2			
	目	科	講 読 演 習	浄土三部経講読演習Ⅰ	2
				浄土三部経講読演習Ⅱ	2
				浄土論註講読演習Ⅰ	2
				浄土論註講読演習Ⅱ	2
				選択集講読演習Ⅰ	2
				選択集講読演習Ⅱ	2
教行信証講読演習Ⅰ				2	
教行信証講読演習Ⅱ	2				
教化学講読演習Ⅰ	2				
教化学講読演習Ⅱ	2				
仏教文化講読演習Ⅰ	2				
仏教文化講読演習Ⅱ	2				

区 分		授 業 科 目	単 位
学 科 専 攻 科 目	選 択 科 目	仏 教 漢 文 基 礎 学	2
		漢 文 基 礎 学 I	2
		漢 文 基 礎 学 II	2
		古 文 書 基 礎 学	2
		書 誌 学	2
		サ ン ス ク リ ッ ト 語 基 礎 学 I	2
		サ ン ス ク リ ッ ト 語 基 礎 学 II	2
		パ ー リ 語 基 礎 学 I	2
	パ ー リ 語 基 礎 学 II	2	
	実 習	教 化 学 実 習 I	1
教 化 学 実 習 II		1	

②文学部人文学科 教育科目

区 分		授 業 科 目					単 位
学 科 専 攻 科 目	必 修 科 目	講 義	日 本 文 学 概 論 I	2			
			日 本 文 学 概 論 II	2			
			欧 州 文 学 概 論 I	2			
			欧 州 文 学 概 論 II	2			
			中 国 文 学 概 論 I	2			
			中 国 文 学 概 論 II	2			
			歴 史 文 化 概 論 I	2			
			歴 史 文 化 概 論 II	2			
			映 像 文 化 概 論 I	2			
			映 像 文 化 概 論 II	2			
			国 語 学 概 論 I	2			
			国 語 学 概 論 II	2			
	言 語 学 概 論 I	2					
	言 語 学 概 論 II	2					
	基 礎 演 習	基 礎 演 習 I	2				
		基 礎 演 習 II	2				
		基 礎 演 習 III	2				
		基 礎 演 習 IV	2				
	演 習	人 文 学 演 習 I	2				
		人 文 学 演 習 II	2				
人 文 学 演 習 III		2					
人 文 学 演 習 IV		2					
卒 論 課 題	論 文 指 導	2					
	卒 業 業 論 課 題	6					
選 択 科 目	講 義	国 語 法	2				
		国 語 史	2				
		音 声 学	2				
		日 本 文 学 史 (上 代 ・ 中 古)	2				
		日 本 文 学 史 (中 世)	2				
		日 本 文 学 史 (近 世)	2				
		日 本 文 学 史 (近 現 代)	2				
		日 本 文 学 (上 代 ・ 中 古)	2				
		日 本 文 学 (中 世)	2				
		日 本 文 学 (近 世)	2				
		日 本 文 学 (近 現 代)	2				
		日 本 語 文 体 論	2				
		日 本 語 文 法	2				
		日 本 文 化 史 (古 代 ・ 中 世)	2				
		日 本 文 化 史 (近 世 ・ 近 現 代)	2				
		日 本 文 化 史 (思 想 史)	2				
		日 本 文 化 史 (民 俗 学)	2				
		中 国 文 学 史	2				
		中 国 文 学 史	2				
		中 国 思 想 史	2				
中 国 文 化 史	2						
中 国 芸 能 史	2						
中 国 現 代 事 情	2						

③社会福祉学部社会福祉学科 教育科目

区 分	授 業 科 目	単 位
専 門 教 育 科 目 (社 会 福 祉 専 攻)	生 活 と 福 祉	2
	人 間 の 尊 厳 と 自 立	2
	子 ども 学 総 論	2
	社 会 福 祉 基 礎 演 習 I	2
	社 会 福 祉 基 礎 演 習 II	2
	子 ども 学 演 習 I	2
	子 ども 学 演 習 II	2
	ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 論 I	2
	ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 論 II	2
	社 会 福 祉 発 達 史 I	2
	社 会 福 祉 発 達 史 II	2
	社 会 福 祉 総 論 I	2
	社 会 福 祉 総 論 II	2
	社 会 保 障 論 I	2
	社 会 保 障 論 II	2
	低 所 得 者 に 対 す る 支 援 と 生 活 保 護 制 度 論	2
	現 代 貧 困 論	2
	地 域 福 祉 の 理 論 と 方 法 I	2
	地 域 福 祉 の 理 論 と 方 法 II	2
	児 童 ・ 家 庭 福 祉 総 論	2
	児 童 ・ 家 庭 福 祉 の 方 法	2
	高 齢 者 福 祉 論	2
	介 護 福 祉	2
	福 祉 サ ー ビ ス の 組 織 と 経 営	2
	権 利 擁 護 と 成 年 後 見 制 度	2
	就 労 支 援 サ ー ビ ス	1
	更 生 保 護 制 度	1
	障 害 者 に 対 す る 支 援 と 障 害 者 自 立 支 援 制 度	2
	障 害 者 福 祉 論	2
	保 健 医 療 制 度	2
	医 療 ソ ー シ ャ ル ワ ー ク	2
	福 祉 行 財 政 と 福 祉 計 画	2
ソ ー シ ャ ル ワ ー ク の 方 法 I	2	
ソ ー シ ャ ル ワ ー ク の 方 法 II	2	
ソ ー シ ャ ル ワ ー ク の 方 法 III	2	
ソ ー シ ャ ル ワ ー ク の 方 法 IV	2	
社 会 理 論 と 社 会 シ ス テ ム	2	
介 護 概 論	2	
身 体 障 害 を も つ 人 へ の 支 援	2	
知 的 障 害 を も つ 人 へ の 支 援	2	
高 齢 者 の 介 護	2	
介 護 倫 理 と 地 域 連 携	2	
介 護 シ ス テ ム 論	2	
支 援 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 技 術	2	
チ ャ ーム コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 技 術	2	
障 害 に 応 じ た 支 援 1	2	
障 害 に 応 じ た 支 援 2	2	
生 理 的 ニ ー ズ へ の 介 護	2	
セ ー フ テ ィ ニ ー ズ へ の 介 護	2	

区 分		授 業 科 目	単 位
専 門 教 育 科 目	専 門 基 幹 科 目 (社 会 福 祉 専 攻)	介 護 過 程 の 構 成 要 素	2
		発 達 と 老 化 の 理 解	2
		障 害 の 理 解 1	2
		障 害 の 理 解 2	2
		こころとからだのしくみ 1	2
		こころとからだのしくみ 2	2
		こころとからだのしくみ 3	2
		精 神 医 学 I	2
		精 神 医 学 II	2
		精 神 保 健 学 I	2
		精 神 保 健 学 II	2
		精 神 保 健 福 祉 に 関 す る 制 度 と サ ー ビ ス I	2
		精 神 保 健 福 祉 に 関 す る 制 度 と サ ー ビ ス II	2
		精 神 保 健 福 祉 の 理 論 と 相 談 援 助 の 展 開 I	2
		精 神 保 健 福 祉 の 理 論 と 相 談 援 助 の 展 開 II	2
		精 神 保 健 福 祉 の 理 論 と 相 談 援 助 の 展 開 III	2
		精 神 保 健 福 祉 の 理 論 と 相 談 援 助 の 展 開 IV	2
		精 神 保 健 福 祉 相 談 援 助 の 基 盤 (専 門)	2
		精 神 保 健 福 祉 援 助 演 習 (基 礎)	2
		精 神 保 健 福 祉 援 助 演 習 (専 門) I	2
		精 神 保 健 福 祉 援 助 演 習 (専 門) II	2
		臨 床 心 理 学 I	2
		臨 床 心 理 学 II	2
		発 達 心 理 学 演 習 I	2
		発 達 心 理 学 演 習 II	2
		老 年 教 心 と 理 福 学 社	2
		仏 教 と 生 命 の 倫 理 学 社	2
		社 会 調 査 の 基 礎 論 社	2
		国 際 社 会 福 祉 論 社	2
		国 際 ボ ラ ン テ ィ ア 論 社	2
		民 行 社 会 政 策 I	2
		民 行 社 会 政 策 II	2
		社 会 政 策 I	2
		社 会 政 策 II	2
		社 会 的 養 護 教 育 内 容 I	2
		社 会 的 養 護 教 育 内 容 II	2
		特 別 支 援 教 育 I	2
		特 別 支 援 教 育 II	2
		発 達 障 害 児 心 理 学 I	2
		発 達 障 害 児 心 理 学 II	2
発 達 障 害 児 の 生 理 論 社	2		
肢 体 不 自 由 児 総 論 社	2		
病 弱 児 総 論 社	2		
発 達 障 害 児 総 論 社	2		
遊 び 文 化 論 社	2		
レ ク リ エ ー シ ョ ン の 理 論 社	2		
福 祉 レ ク リ エ ー シ ョ ン 論 社	2		
福 祉 レ ク リ エ ー シ ョ ン 援 助 論 社	2		
障 害 者 ス ポ ー ツ 指 導 法 社	2		
社 会 福 祉 演 習 I	2		
社 会 福 祉 演 習 II	2		

区分	授業科目	単位
専門教育科目	社会福祉演習 III	2
	社会福祉演習 IV	2
	ソーシャルワーカー演習 I	2
	ソーシャルワーカー演習 II	2
	ソーシャルワーカー演習 III	2
	ソーシャルワーカー演習 IV	2
	ソーシャルワーカー演習 V	2
	生活とケア	2
	高齢者の介護過程展開	2
	障害者の介護過程展開	2
	在宅生活者の介護過程展開	2
	精神障害者の介護過程展開	2
	生活リハビリとレクリエーション	2
	介護基礎技術演習	2
	家政と被服	2
	家事援助と住環境	2
	介護心理学概論 I	2
	心理学概論 II	2
	心理学研究法 I	2
	心理学研究法 II	2
	心理学基礎実験 I	1
	心理学基礎実験 II	1
	心理学実験 I	1
	心理学実験 II	1
	心理学習理 I	2
	心理学習理 II	2
	社会学心理 I	2
	社会学心理 II	2
	福祉レクリエーション援助技術演習 I	2
	福祉レクリエーション援助技術演習 II	2
	情報処理解演習	2
	社会福祉外書講読	2
	卒業論文指導	6
	ソーシャルワーカー実習	4
	ソーシャルワーカー実習指導 I	1
	ソーシャルワーカー実習指導 II	1
	ソーシャルワーカー実習指導 III	1
	介護福祉社総合演習 1	1
	介護福祉社総合演習 2	1
	介護福祉社総合演習 3	1
介護福祉社総合演習 4	1	
介護福祉社総合演習 ケーススタディ	2	
介護福祉社実習 I	1	
介護福祉社実習 I	2	
介護福祉社実習 I	3	
介護福祉社実習 II	4	
福祉レクリエーション実習	1	
レクリエーション実技 I	2	
レクリエーション実技 II	2	
キャリアリアア支援講座 I	2	
キャリアリアア支援講座 II	2	

区 分	授 業 科 目	単 位
専 門 教 育 科 目	保 幼 育 者 論	2
	幼 児 教 育 原 理	2
	保 幼 育 教 育 原 心 理	2
	発 達 心 理 学 演 習 I	2
	発 達 心 理 学 演 習 II	2
	保 育 心 理 演 習	2
	保 育 心 理 技 法	2
	比 較 教 育 制 度 論	2
	児 童 ・ 家 庭 福 祉 総 論	2
	児 童 ・ 家 庭 福 祉 の 方 法 I	2
	地 域 福 祉 の 理 論 と 方 法	2
	社 会 的 援 養	1
	子 ども の 生 活 健 養	2
	子 ども の 保 健 演 習	2
	子 ども の 保 食 と 栄 養 論	2
	子 育 の 支 援 課 程 論	2
	保 育 内 容 (健 康 の 指 導)	2
	保 育 内 容 (健 言 葉 の 指 導)	2
	保 育 内 容 (人 間 関 係 の 指 導 I)	2
	保 育 内 容 (人 間 関 係 の 指 導 II)	2
	保 育 内 容 (環 境 の 指 導)	2
	保 育 内 容 (音 楽 表 現 の 指 導 I)	2
	保 育 内 容 (音 楽 表 現 の 指 導 II)	2
	保 育 内 容 (美 術 表 現 の 指 導 I)	2
	保 育 内 容 (美 術 表 現 の 指 導 II)	2
	保 幼 児 音 楽 研 究 論	2
	保 乳 育 児 方 保 育 法 育 保 内 容	2
	乳 児 害 害 的 養 護 支 相 学	2
	社 会 的 相 教 心 理 支 相 学	2
	保 幼 臨 床 心 理 学	2
	臨 床 心 理 学	2
	国 音 楽 工 作	2
	音 画 児 工 作 育	2
	図 画 児 工 作 育	2
	図 画 児 工 作 育	2
	幼 幼 然 体 化 驗 論	2
自 遊 び 支 援 教 育 論	2	
特 別 支 援 教 育 I	2	
特 別 支 援 教 育 II	2	

区 分		授 業 科 目									単 位
専 門 教 育 科 目 （ 子 ども 学 専 攻 ）	専 門 基 幹 科 目 （ 子 ども 学 専 攻 ）	発 達 障 害 児 心 理 学 I	2								
		発 達 障 害 児 心 理 学 II	2								
		発 達 障 害 児 心 理 学 総 論 I	2								
		発 達 障 害 児 心 理 学 総 論 II	2								
		発 達 障 害 児 心 理 学 総 論 III	2								
		レ ク リ エ ー シ ョ ン の 理 論	2								
		福 祉 レ ク リ エ ー シ ョ ン の 援 助	2								
		福 祉 児 教 育 実 習 指 導	1								
		幼 児 教 育 実 習 I	1								
		幼 児 教 育 実 習 II	3								
		保 育 実 習 指 導 I	1								
		保 育 実 習 指 導 I	2								
		保 育 実 習 指 導 I	1								
		保 育 実 習 指 導 I	2								
		保 育 実 習 指 導 II	1								
		保 育 実 習 指 導 II	2								
		保 育 実 習 指 導 II	2								
		保 育 実 習 指 導 III	1								
		保 育 実 習 指 導 III	2								
		保 育 実 習 指 導 IV	2								
		保 育 実 習 指 導 IV	2								
		保 育 実 習 指 導 IV	2								
		福 祉 レ ク リ エ ー シ ョ ン 援 助 技 術 演 習 I	2								
		福 祉 レ ク リ エ ー シ ョ ン 援 助 技 術 演 習 II	2								
		福 祉 レ ク リ エ ー シ ョ ン 援 助 技 術 演 習 I	1								
レ ク リ エ ー シ ョ ン 援 助 技 術 演 習 II	2										
論 卒 キ											
キ ャ リ ア 支 援 講 座 I	2										
キ ャ リ ア 支 援 講 座 II	2										

④教養共通科目 <学部共通>

区 分		授 業 科 目	単 位	
教 養 共 通 科 目	宗 教 科 目	宗 教 と 人 間 (釈 尊 と 現 代)	2	
		宗 教 と 人 間 (親 鸞 と 現 代)	2	
	外 国 語 科 目	英 語	1	1
		英 語	2	1
		英 語	3	1
		英 語	4	1
		英 語	5	1
		英 語	6	1
		フ ラ ン ス 語	1	1
		フ ラ ン ス 語	2	1
		ド イ ツ 語	1	1
		ド イ ツ 語	2	1
		中 国 語	1	1
		中 国 語	2	1
		ハ ン グ ル	1	1
		ハ ン グ ル	2	1
		日 本 語	1	1
		日 本 語	2	1
		日 本 語	3	1
		日 本 語	4	1
	日 本 語	5	1	
	日 本 語	6	1	
	キ ャ リ ア 教 育	キ ャ リ ア 開 発 の 基 礎	1	1
		キ ャ リ ア 開 発 の 展 開	1	1
		キ ャ リ ア 開 発 の 実 践	2	2
	教 養	哲 学	2	2
		倫 理 学	2	2
宗 教 史		2	2	
宗 教 学		2	2	
死 生 学		2	2	
哲 学 史 (東 洋)		2	2	
哲 学 史 (西 洋)		2	2	
日 本 史		2	2	
外 国 史 (東 洋)		2	2	
外 国 史 (西 洋)		2	2	
政 治 学		2	2	
国 際 政 治 学		2	2	
経 済 学 概 論		2	2	
経 済 学 各 論		2	2	
法 学 概 論	2	2		
日 本 国 会 憲 法 学	2	2		
社 会 学	2	2		

区 分		授 業 科 目	単 位
教 養 共 通 科 目	教 養	心 理 学	2
		教 育 心 理 学	2
		発 達 教 育 学	2
		地 理 学	2
		地 誌 学	2
		環 境 学 概 説	2
		自 然 地 理 学	2
		認 知 症 の 理 解	1
		認 知 症 の 理 解	2
		人 体 の 構 造 と 機 能 及 び 疾 病	2
	社 会 統 計 学 入 門	2	
	総 合	文 化 総 合	1
		文 化 総 合	2
	名 古 屋 ・ 中 村 学	名 古 屋 ・ 中 村 学 講 義 I (歴 史 文 化)	2
		名 古 屋 ・ 中 村 学 講 義 II (現 代 社 会)	2
	ス ポ ー ツ	ス ポ ー ツ 健 康 科 学	2
		ス ポ ー ツ 実 技	1
		ス ポ ー ツ 実 技	2
		ス ポ ー ツ 実 技	3
		ス ポ ー ツ 実 技	4
情 報	情 報 社 会	2	
	情 報 処 理	2	
国 際	海 外 語 学 研 修	2	
	海 外 文 化 研 修	2	
ボ ラ ン テ ィ ア	ボ ラ ン テ ィ ア 論	2	
	ボ ラ ン テ ィ ア 史	2	
	ボ ラ ン テ ィ ア 活 動	2	
	NPO・ボランティアマネジメント総論	2	
	NPO・ボランティアフィールドワーク	2	
イ ン タ ー ン シ ッ プ	イ ン タ ー ン シ ッ プ I	1	
	イ ン タ ー ン シ ッ プ II	1	
	イ ン タ ー ン シ ッ プ III	1	
	イ ン タ ー ン シ ッ プ IV	1	
傾 聴	傾 聴 活 動 論	2	
	傾 聴 実 習 指 導	1	
	傾 聴 実 践 実 習	2	

別表 II (教職課程科目)

(1) 施行規則第66条の6に定める科目

法定基準		本学基準		
免許法施行規則に定める科目区分	単位	授業科目	単位	備考
日本国憲法	2	日本国憲法	2	必修
体育	2	スポーツ健康科学	2	いずれか 2科目 選択必修
		スポーツ実技 1	1	
		スポーツ実技 2	1	
		スポーツ実技 3	1	
		スポーツ実技 4	1	
外国語コミュニケーション	2	英語 1	1	必修 必修
		英語 2	1	
情報機器の操作	2	情報処理	2	必修

(2) 教職に関する科目 (中一種免・高一種免)

法定基準		本学基準		
免許法施行規則に定める科目区分	単位	授業科目	単位	備考
に教職の意義等 に関する科目	2	教師論	2	必修
教育の基礎理論に 関する科目	6	教育原理	2	必修
		教育心理学	2	必修
		発達教育学	2	
		教育に関する社会的、制度的 又は経営的事項	2	必修
教育課程及び指導法に関する科目	中12 高6	教育課程の意義及び編成の方法 ・教育の方法及び技術 (情報機器 及び教材の活用を含む。)	2	必修
		各教科の指導法		
		宗教科 教育法 I	2	該当教科の指導法について必修 中1種免必修
		宗教科 教育法 II	2	中1種免必修
		宗教科 教育法 III	2	中1種免必修
		宗教科 教育法 IV	2	
		国語科 教育法 I	2	中1種免必修
		国語科 教育法 II	2	中1種免必修
		国語科 教育法 III	2	中1種免必修
		国語科 教育法 IV	2	
		社会科・地理歴史科 教育法 I	2	中1種免必修
		社会科・公民科 教育法 I	2	中1種免必修
		社会科・地理歴史科 教育法 II	2	いずれか中1種免必修
	社会科・公民科 教育法 II	2		
	福祉科 教育法 I	2	※各教科の指導法は、中1種 6単位、高1種4単位必修	
	福祉科 教育法 II	2		

法定基準		本学基準		
免許法施行規則に定める科目区分	単位	授業科目	単位	備考
	・道徳の指導法	道徳教育研究	2	中1種免必修
	・特別活動の指導法	特別活動研究	2	必修
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法 ・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	2	必修
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	臨床心理学Ⅰ	2	必修
		臨床心理学Ⅱ	2	
教育実習	中5 高3	教育演習	1	必修
		教育実習 1	4	中一種免又は高一種免
		教育実習 2	2	高一種免のみ
教職実践演習	2	教職実践演習（中・高）	2	必修
計	中31 高23	中一種 31単位以上 高一種 23単位以上		

(3) 教科に関する科目

① 仏教学科（宗教）

免許教科	法定基準		本学基準		
	教科に関する科目	単位	授業科目	単位	備考
宗教 (中一種・高一種)	宗 教 学	20	宗 教 学	2	必修
			宗教と人間(親鸞と現代)	2	必修
			真宗学概論Ⅰ	2	必修
			真宗学概論Ⅱ	2	必修
			仏教学概論Ⅰ	2	必修
			仏教学概論Ⅱ	2	必修
			教化学概論Ⅰ	2	必修
			教化学概論Ⅱ	2	必修
			仏教経典学	2	
			仏教と平和	2	
			仏教と人権Ⅰ	2	
			仏教と人権Ⅱ	2	
	仏教と生命倫理	2			
	宗教史	2	必修		
	「教理学・哲学」		宗 教 経 典 史	2	
哲学史(東洋)			2	必修	
哲学史(西洋)			2		
キリスト教神学Ⅰ	2				
キリスト教神学Ⅱ	2				

	教科又は教職に関する科目	中8 高16			最低修得単位を超えて履修した「教科に関する科目」若しくは「教職に関する科目」について、併せて中8、高16単位以上を修得すること。
	計	中28 高36	中一種 28単位以上 高一種 36単位以上		

②人文学科（国語）

免許 教科	法 定 基 準		本 学 基 準		
	教科に関する科目	単位	授 業 科 目	単位	備 考
国 語 (中 一 種 ・ 高 一 種)	国 語 学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	20	国 語 学 概 論 I	2	必 修
			国 語 学 概 論 II	2	必 修
			国 語 法	2	
			国 語 史	2	
			音 声 学	2	必 修
			文章表現(文芸表現)	2	
			文章表現(記事表現)	2	
			文章表現(論述表現)	2	必 修
			言 語 学 概 論 I	2	
			言 語 学 概 論 II	2	
国 文 学 (国文学史を含む。)	20	20	日 本 文 学 概 論 I	2	必 修
			日 本 文 学 概 論 II	2	必 修
			日本文学史(上代・中古)	2	
			日本文学史(中世)	2	
			日本文学史(近世)	2	
			日本文学史(近現代)	2	
			日本文学(上代・中古)	2	
			日本文学(中世)	2	
漢 文 学	20	20	漢 文 基 礎 学 I	2	必 修
			漢 文 基 礎 学 II	2	必 修
			中国文学概論 I	2	
			中国文学概論 II	2	
			中国文学	2	
書 道 (書写を中心とする。)			書 道	2	中一種のみ 必 修
教科又は教職に関する科目	中8 高16				「教科又は教職に関する科目」の選択科目又は、最低修得単位を超えて履修した「教科に関する科目」若しくは「教職に関する科目」について、併せて中8、高16単位以上を修得すること。
計	中28 高36	中一種 28単位以上 高一種 36単位以上			

③人文学科（社会）

免許 教科	法定基準		本学基準		
	教科に関する科目	単位	授業科目	単位	備考
社 会 (中 一 種)	日 本 史	20	日 本 史 概 説	2	必 修
			日 本 史 特 講	2	
			仏 教 史 (日 本)	2	
			日 本 文 化 史 (古 代・中 世)	2	
			日 本 文 化 史 (近 世・近 現 代)	2	
			日 本 文 化 史 (思 想 史)	2	
	外 国 史		外 国 史 (東 洋)	2	必 修
			外 国 史 (西 洋)	2	必 修
			欧 州 文 化 史	2	
			中 国 文 化 史	2	
イ ン ド 文 化		2			
欧 州 文 学 概 論 I		2			
地 理 学 (地 誌 を 含 む。)	地 理 学	2	必 修		
	地 誌 学	2	必 修		
	自 然 地 理 学	2			
	日 本 文 化 史 (民 俗 学) (地 誌 を 含 む)	2			
	中 国 現 代 事 情 (地 誌 を 含 む)	2			
「 法 律 学 ・ 政 治 学 」	法 学	2	} 3 科 目 中 1 科 目 選 択 必 修		
	政 治 学	2			
	国 際 政 治 学	2			
「 社 会 学 ・ 経 済 学 」	社 会 学	2	必 修		
	社 会 理 論 と 社 会 シ ス テ ム	2			
	社 会 政 策	2			
	経 済 学 概 論	2			
	経 済 学 各 論	2			
	経 済 政 策 I	2			
	経 済 政 策 II	2			
	社 会 保 障 論 I	2			
社 会 保 障 論 II	2				
「 哲 学 ・ 倫 理 学 ・ 宗 教 学 」	哲 学	2	} 3 科 目 中 1 科 目 選 択 必 修		
	倫 理 学	2			
	宗 教 学	2			
	イ ン ド 哲 学	2			
	哲 学 史 (東 洋)	2			
	哲 学 史 (西 洋)	2			
	中 国 思 想	2			
欧 州 思 想	2				
教科又は教職に関する科目	8			最低修得単位を越えて履修した「教科に関する科目」若しくは「教職に関する科目」について、併せて8単位以上を修得すること。	
計	28	28単位以上			

④人文学科（地理歴史）

免許 教科	法 定 基 準		本 学 基 準		
	教科に関する科目	単位	授 業 科 目	単 位	備 考
地 理 歴 史 (高 一 種)	日 本 史	20	日 本 史 概 説	2	必 修
			日 本 史 特 講	2	
			仏 教 史 (日 本)	2	
			日本文化史(古代・中世)	2	
			日本文化史(近世・近現代)	2	
			日本文化史(思想史)	2	
	外 国 史		外 国 史 (東 洋)	2	必 修
			外 国 史 (西 洋)	2	必 修
			欧 州 文 化 史	2	
			中 国 文 化 史	2	
人文地理学及び自然地理学	イ ン ド 文 化	2			
	欧 州 文 学 概 論 I	2			
	仏 教 史 (イ ン ド)	2			
地 誌	地 理 学	2	必 修		
	自 然 地 理 学	2	必 修		
教科又は教職に関する科目	16	地 誌 学	2	必 修	
		日本文化史(民俗学)〈地誌を含む〉	2		
		中国現代事情〈地誌を含む〉	2		
計	36	36単位以上			
			最低修得単位を超えて履修した「教科に関する科目」若しくは「教職に関する科目」について、併せて16単位以上を修得すること。		

⑤社会福祉学科社会福祉専攻（社会）

免許 教科	法 定 基 準		本 学 基 準		
	教科に関する科目	単位	授 業 科 目	単位	備 考
社 会 (中 一 種)	日 本 史	20	日 本 史	2	必 修
			社会福祉発達史Ⅱ(日本)	2	
			仏 教 史 (日 本)	2	
			日本文化史(古代・中世)	2	
			日本文化史(近世・近現代)	2	
	日本文化史(思想史)		2		
	外 国 史		外 国 史 (東 洋)	2	必 修
			外 国 史 (西 洋)	2	必 修
			社会福祉発達史Ⅰ(西洋)	2	
	地 理 学 (地 誌 を 含 む。)		地 理 学	2	必 修
地 誌 学		2	必 修		
「法律学・政治学」	法 学	2	} 2科目中1科目選択必修		
	政 治 学	2			
	民 法 Ⅰ	2			
	民 法 Ⅱ	2			
「社会学・経済学」	行 政 法	2			
	社 会 学	2	必 修		
	社会理論と社会システム	2			
	社 会 政 策	2			
	経 済 学 概 論	2			
	経 済 学 各 論	2			
	経 済 政 策 Ⅰ	2			
経 済 政 策 Ⅱ	2				
「哲学・倫理学・宗教学」	社 会 保 障 論 Ⅰ	2	} 3科目中1科目選択必修		
	社 会 保 障 論 Ⅱ	2			
	哲 学 史 (東 洋)	2			
	哲 学 史 (西 洋)	2			
	仏 教 と 福 祉	2			
	仏 教 と 生 命 倫 理	2			
教科又は教職に関する科目	8		最低修得単位を超えて履修した「教科に関する科目」若しくは「教職に関する科目」について、併せて8単位以上を修得すること。		
計	28	28単位以上			

⑥社会福祉学科社会福祉専攻（公民）

免許 教科	法 定 基 準		本 学 基 準		
	教科に関する科目	単位	授 業 科 目	単位	備 考
公 民 (高 一 種)	「法律学（国際法を含む。） 政治学（国際政治を含む。）」	20	法 学	2	必 修
			政 治 学	2	
	民 法 I		2		
	民 法 II		2		
	行 政 法		2		
「社会学、経済学 （国際経済を含む。）」	社 会 学	2	必 修		
	社会理論と社会システム	2			
	社 会 政 策	2	必 修		
	経 済 学 概 論	2			
	経 済 学 各 論	2			
	経 済 政 策 I	2			
	経 済 政 策 II	2			
	社 会 保 障 論 I	2			
社 会 保 障 論 II	2				
「哲学・倫理学・ 宗教学・心理学」	哲 学	2	4科目中1 科目選択 必修		
	倫 理 学	2			
	宗 教 学	2			
	心 理 学	2			
	哲 学 史（東 洋）	2			
	哲 学 史（西 洋）	2			
	仏 教 と 福 祉	2			
	仏 教 と 生 命 倫 理	2			
教科又は教職に関する科目	16				最低修得単位 を超えて履修 した「教科に 関する科目」 若しくは「教 職に関する科 目」について、 併せて16単位 以上を修得す ること。
計	36	36単位以上			

⑦社会福祉学科社会福祉専攻（福祉）

免許 教科	法 定 基 準		本 学 基 準		
	教科に関する科目	単位	授 業 科 目	単位	備 考
福 祉 (高 一 種)	「社会福祉学 (職業指導を含む。)」	20	生活と福祉	2	必修
			社会福祉総論Ⅰ	2	
			社会福祉総論Ⅱ	2	
			低所得者に対する支援と生活保護制度	2	
			現代貧困論	2	
			地域福祉の理論と方法Ⅰ	2	
			地域福祉の理論と方法Ⅱ	2	
			福祉サービスの組織と経営	2	
	「高齢者福祉、児童福祉及び 障害者福祉」	20	高齢者福祉論	2	必修
			介護福祉	2	
児童・家庭福祉総論			2	必修	
児童・家庭福祉の方法			2		
障害者に対する支援と障害者自立支援制度			2	必修	
障害者福祉論			2		
身体障害をもつ人への支援			2		
「社会福祉援助技術」	20	知的障害をもつ人への支援	2	必修	
		高齢者の介護	2		
		ソーシャルワーク論Ⅰ	2		
		ソーシャルワーク論Ⅱ	2		
		ソーシャルワークの方法Ⅰ	2		
		ソーシャルワークの方法Ⅱ	2		
		ソーシャルワークの方法Ⅲ	2		
		ソーシャルワークの方法Ⅳ	2		
		社会調査の基礎	2		
		社会統計学入門	2		
介護倫理と地域連携	2				
介護システム論	2				
支援コミュニケーション技術	2				
チームコミュニケーション技術	2				
「介護理論及び介護技術」	20	介護概論	2	必修	
		介護基礎技術演習	2		
「社会福祉総合実習 (社会福祉援助実習及び社会 福祉施設等における介護実習 を含む。)」	20	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	1	} 2科目中1科 目選択必修	
		介護福祉総合演習Ⅰ	2		
		ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	1	} 2科目中1科 目選択必修	
		介護福祉総合演習Ⅱ	1		
		ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	1	} 2科目中1科 目選択必修	
		介護福祉総合演習Ⅲ	1		
ソーシャルワーク実習	4	} 2科目中1科 目選択必修			
介護福祉実習Ⅱ	4				
人体構造及び日常生活行動に 関する理解	20	こころとからだのしくみⅠ	2	必修	
		こころとからだのしくみⅡ	2		
		こころとからだのしくみⅢ	2		
加齢と障害に関する理解	20	発達と老化の理解	2	必修	
		認知症の理解	1		
		障害の理解	1		

免許 教科	法 定 基 準		本 学 基 準		
	教科に関する科目	単位	授 業 科 目	単位	備 考
福 社 (高 一 種)	教科又は教職に関する科目	16			最低修得単 位を超えて 履修した「教 科に関する 科目」若しく は「教職に関 する科目」に ついて、併せ て16単位以 上を修得す ること。
	計	36	36単位以上		

別表Ⅱ（教職課程科目）

(4) 特別支援教育に関する科目（特支一種免 知的障害者・肢体不自由者・病弱者）

○社会福祉学科社会福祉専攻（特支）

免許法施行規則に定める科目区分		単位	左記に対応する開設授業科目				
			授業科目	単位数		中心となる領域	含む領域
				必修	選択		
特別支援教育の基礎理論に関する科目		2	特別支援教育Ⅰ	2			
			特別支援教育Ⅱ		2		
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	16	発達障害児心理学Ⅰ	2		知的障害者	
			発達障害児心理学Ⅱ		2	知的障害者	
			発達障害児の生理	2		知的障害者	肢体不自由者 病弱者
			肢体不自由児総論	2		肢体不自由者	知的障害者
			病弱児総論	2		病弱者	知的障害者
			発達障害児教育指導論	2		知的障害者	肢体不自由者 病弱者
			発達障害児総論	2		知的障害者	肢体不自由者 病弱者
			障害児の発達と教育1	2		肢体不自由者	知的障害者
			障害児の発達と教育2	2		病弱者	知的障害者
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	5	重複障害児教育総論	2		重複・LD等領域	
			L D 等 教育 総 論	2		重複・LD等領域	
			特別支援教育方法論		2	重複・LD等領域	視覚障害者 聴覚障害者 知的障害者 肢体不自由者 病弱者
			特別支援教育臨床		2		視覚障害者 聴覚障害者 知的障害者 肢体不自由者 病弱者
			視覚障害児教育指導論	1		視覚障害者	
			聴覚障害児教育指導論	1		聴覚障害者	
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習		3	教育演習（特別支援学校事前事後指導）	1			
			教育実習（特別支援学校）	2			
計		26	26単位以上				

註1 特別支援領域に関する科目は、中心となる領域「知的障害者」、「肢体不自由者」、「病弱者」それぞれ必修科目を修得しなければならない。

註2 免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目で「特別支援教育方法論」・「特別支援教育臨床」いずれか1科目を選択必修

- ※
- 視覚障害者に関する教育の領域：
1単位/8単位（心理等：0単位/1単位、教育課程等：0単位/2単位、心理・教育課程等：1単位）
 - 聴覚障害者に関する教育の領域：
1単位/8単位（心理等：0単位/1単位、教育課程等：0単位/2単位、心理・教育課程等：1単位）
 - 知的障害者に関する教育の領域：
8単位/4単位（心理等：4単位/1単位、教育課程等：4単位/2単位、心理・教育課程等：0単位）
 - 肢体不自由者に関する教育の領域：
4単位/4単位（心理等：2単位/1単位、教育課程等：2単位/2単位、心理・教育課程等：0単位）
 - 病弱者に関する教育の領域：
4単位/4単位（心理等：2単位/1単位、教育課程等：2単位/2単位、心理・教育課程等：0単位）

別表 Ⅲ （幼稚園一種 社会福祉学科子ども学専攻教職課程科目）

(1) 施行規則第66条の6に定める科目

法定基準		本学基準		
免許法施行規則に定める科目区分	単位	授業科目	単位	備考
日本国憲法	2	日本国憲法	2	必修
体育	2	スポーツ健康科学	2	いずれか 2科目 選択必修
		スポーツ実技1	1	
		スポーツ実技2	1	
		スポーツ実技3	1	
		スポーツ実技4	1	
外国語コミュニケーション	2	英語1	1	必修 必修
		英語2	1	
情報機器の操作	2	情報処理	2	必修

(2) 教職に関する科目（幼稚園一種免）

法定基準		本学基準			
免許法施行規則に定める科目区分		単位	授業科目	単位	備考
に 関 する 科 目	<ul style="list-style-type: none"> ・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、勤務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種機会の提供等 	2	保 育 者 論	2	必 修
に 関 する 科 目	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 	6	幼 児 教 育 原 理	2	必 修
	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。） 		幼 児 教 育 心 理 学	2	必 修
	<ul style="list-style-type: none"> ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 		比 較 教 育 制 度 論	2	必 修
に 関 する 科 目	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の意義及び編成の方法 	18	幼 児 の 教 育 課 程	2	必 修
	<ul style="list-style-type: none"> ・保育内容の指導法 		保 育 内 容 総 論	2	必 修
			保 育 内 容（健康の指導）	2	必 修
保 育 内 容（言葉の指導）			2	必 修	
保 育 内 容（人間関係の指導Ⅰ）			2	必 修	
保 育 内 容（人間関係の指導Ⅱ）			2	必 修	
保 育 内 容（環境の指導）			2	必 修	
保 育 内 容（音楽表現の指導Ⅰ）			2	必 修	
保 育 内 容（音楽表現の指導Ⅱ）			2	必 修	
保 育 内 容（美術表現の指導Ⅰ）			2	必 修	
保 育 内 容（美術表現の指導Ⅱ）	2	必 修			
幼 児 音 楽 研 究	2				
<ul style="list-style-type: none"> ・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） 		保 育 方 法 論	2	必 修	
に 関 する 科 目	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児理解の理論及び方法 ・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法 	2	幼 児 教 育 相 談	2	必 修
教 育 実 習		5	幼児教育実習指導（事前事後指導）	1	必 修
			幼 児 教 育 実 習 Ⅰ	1	必 修
			幼 児 教 育 実 習 Ⅱ	3	必 修
教 職 実 践 演 習		2	保 育 ・ 教 職 実 践 演 習	2	必 修
計		35	37単位以上		

(3) 教科に関する科目（幼稚園一種免）

免許 教科	法 定 基 準		本 学 基 準		
	教科に関する科目	単位	授 業 科 目	単位	備 考
幼 稚 園 一 種	国 語	6	国 語	2	
	生 活		子 ども と 生 活	2	必 修
	音 楽		音 楽 I	2	必 修
			音 楽 II	2	必 修
	図 画 工 作		図 画 工 作 I	2	必 修
			図 画 工 作 II	2	
	体 育	幼 児 体 育 I	2	必 修	
		幼 児 体 育 II	2		
	科目に含まれる内容に合わせた内容に係る科目その他これらに準ずる科目	10	自 然 体 験 遊 び 文 化 論	2 2	
	教科又は教職に関する科目		子 育 て 支 援 論	2	最低修得単位を超えて履修した「教科に関する科目」若しくは「教職に関する科目」について、併せて10単位以上を修得すること。
計	16	16単位以上			

別表 IV (保育士課程科目)

(1) 保育士資格に関する教養科目

法 定 基 準				本 学 基 準		
系列	科 目	授業形態	単 位	授 業 科 目	単 位	備 考
教 養 科 目	外国語、体育以外の科目		6	宗教と人間 (釈尊と現代)	2	必修 必修 どちらか 選択必修
				宗教と人間 (親鸞と現代)	2	
				社会福祉基礎演習 I	2	
				子ども学演習 I	2	
				文化総合 1	2	必修科目を 含め8単位 以上を修得 すること。
				哲学	2	
				日本史	2	
				日本国憲法	2	
				経済学概論	2	
				社会学	2	
				社会理論と社会システム	2	
				心理学	2	
				環境学概説	2	
				ボランティア論	2	
				情報処	2	
	外国語	演習	2	英語 1	1	必修
				英語 2	1	必修
	体 育	講義	1	スポーツ健康科学	2	必修
		実 技	1	スポーツ実技 1	1	いずれか1 単位以上必 修
				スポーツ実技 2	1	
				スポーツ実技 3	1	
	スポーツ実技 4			1		
	計	10単位以上		13単位以上		

(2) 保育士資格に関する専門科目

法定基準					本学基準		
系列	区分	科	目	単位	授業科目	単位 (時間数)	備考
必修科目	保育の本質・目的に関する科目	保育原理	(講義)	2	保育原理	2	必修
		教育原理	(講義)	2	幼児教育原理	2	必修
		児童家庭福祉	(講義)	2	児童・家庭福祉総論	2	必修
		社会福祉	(講義)	2	生活と福祉	2	必修
		相談援助	(演習)	1	相談援助	1	必修
		社会的養護	(講義)	2	社会的養護	2	必修
		保育者論	(講義)	2	保育者論	2	必修
	保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学Ⅰ	(講義)	2	幼児教育心理学	2	必修
		保育の心理学Ⅱ	(演習)	1	発達心理学演習Ⅰ	2	必修
		子どもの保健Ⅰ	(講義)	4	子どもと生活	2	必修
					子どもの保健	2	必修
		子どもの保健Ⅱ	(演習)	1	子どもの保健演習	2	必修
		子どもの食と栄養	(演習)	2	子どもの食と栄養	2	必修
		家庭支援論	(講義)	2	子育て支援論	2	必修
	保育の内容・方法に関する科目	保育課程論	(講義)	2	幼児の教育課程	2	必修
		保育内容総論	(演習)	1	保育内容総論	2	必修
		保育内容演習	(演習)	5	保育内容(健康の指導)	2	必修
					保育内容(人間関係の指導Ⅰ)	2	必修
					保育内容(環境の指導)	2	必修
					保育内容(言葉の指導)	2	必修
					保育内容(音楽表現の指導Ⅰ)	2	必修
					保育内容(美術表現の指導Ⅰ)	2	必修
		乳児保育	(演習)	2	乳児保育Ⅰ	2	必修
					乳児保育Ⅱ	2	必修
		障害児保育	(演習)	2	障害児保育	2	必修
	社会的養護内容	(演習)	1	社会的養護内容	2	必修	
	保育相談支援	(演習)	1	保育相談支援	1	必修	
	保育の表現技術	保育の表現技術	(演習)	4	音楽Ⅰ	2	必修
					図画工作Ⅰ	2	必修
					幼児体育Ⅰ	2	必修
	保育実習	保育実習Ⅰ	(実習)	4	保育実習Ⅰ－1	2(80)	必修
					保育実習Ⅰ－2	2(80)	必修
		保育実習指導Ⅰ	(演習)	2	保育実習指導Ⅰ－1	1(30)	必修
					保育実習指導Ⅰ－2	1(30)	必修
	演習総合	保育実践演習	(演習)	2	保育・教職実践演習	2	必修
	計		51単位以上		必修科目36科目68単位修得すること。		

法定基準				本学基準			
系列	区分	教 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位 (時間数)	備 考	
選 択 必 修 科 目	保育の本質・目的に 関する科目		6 単 位 以 上	児童・家庭福祉の方法	2		
				社会福祉総論Ⅰ	2		
				社会福祉総論Ⅱ	2		
				障害者に対する支援と障害者自立支援制度	2		
				地域福祉の理論と方法Ⅰ	2		
				地域福祉の理論と方法Ⅱ	2		
				子ども学総論	2		
	保育の対象の理解に 関する科目				発達心理学演習Ⅱ	2	
					発達障害児心理学Ⅰ	2	
					臨床心理学Ⅰ	2	
					幼児教育相談	2	
	保育の内容・方法に 関する科目				保育内容（人間関係の指導Ⅱ）	2	
					保育内容（音楽表現の指導Ⅱ）	2	
					保育内容（美術表現の指導Ⅱ）	2	
					保育方法論	2	
					ソーシャルワーク論Ⅰ	2	
					ソーシャルワーク論Ⅱ	2	
	保育の 表現技術				音楽Ⅱ	2	
					図画工作Ⅱ	2	
					幼児体育Ⅱ	2	
保育 実習	保育実習Ⅱ 又は 保育実習Ⅲ	(実習)	2単位	保育実習Ⅱ	2(80)	3科目 の内、1 科目選 択必修	
				保育実習Ⅲ	2(80)		
				ソーシャルワーク実習	4(180)		
	保育実習指導Ⅱ 又は 保育実習指導Ⅲ	(演習)	1単位	保育実習指導Ⅱ	1	3科目 の内、1 科目選 択必修	
				保育実習指導Ⅲ	1		
				ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	1		
計		9単位以上					

別表 V (真宗大谷派教師課程科目)

○真宗大谷派教師資格に関する専門科目

区分	授業科目	単位	備考
必修科目	真宗学概論 I	2	浄土三部経講読演習又は浄土論註講読演習のいずれか4単位修得すること
	真宗学概論 II	2	
	真宗学行信証講読演習 I	2	
	真宗学行信証講読演習 II	2	
	真宗学七七祖教義 I	2	
	真宗学七七祖教義 II	2	
	真宗学講読	2	
	真宗学講読	2	
	真宗学講読	2	
	真宗学講読	2	
	真宗史 I	2	
	真宗史 II	2	
	仏教概論 I	2	
	仏教概論 II	2	
	仏教文化講読演習 I	2	
仏教文化講読演習 II	2		
問題別	仏教と人権 I (差別問題) 仏教と人権 II (差別問題)	2 2	
教化学	教化学概論 I 教化学概論 II 教化学実習 I 教化学実習 II	2 2 1 1	
声明作法	声明作法 I 声明作法 II 声明作法 III 声明作法 IV 声明概要 I 声明概要 II	2 2 2 2 2 2	
宗教法規	宗教法規	2	
修教師	前期教師修練 後期教師修練	1 1	
選択必修科目	仏教史 (インド)	2	4単位以上選択必修
	仏教史 (中国)	2	
	仏教史 (日本)	2	
	日本文化史 (古代・中世)	2	
	日本文化史 (近世・近現代)	2	
	日本文化史 (思想史)	2	
	日本文化史 (民俗学)	2	
	中国文化史	2	
	日本文化史	2	
	外国史 (東洋)	2	
外国史 (西洋)	2		

必修科目 29 科目 54 単位。選択必修科目の各部門毎に 4 単位以上修得のこと。

区分		授業科目	単位	備考		
選 択 必 修 科 目	哲 学 部 門	宗 教 と 人 間 (釈 尊 と 人 間)	2	4 単位以上選択必修	必修科目 29 科目 54 単位。選択必修科目の各部門毎に 4 単位以上修得のこと。	
		宗 教 と 人 間 (親 鸞 と 現 代)	2			
		イ ン ド 哲 学	2			
		中 国 思 想 学	2			
		哲 学 史 (東 洋)	2			
		哲 学 史 (西 洋)	2			
		死 生 学 説 学	2			
		死 倫 理 概 論	2			
		仏 教 と 福 祉 理 学	2			4 単位以上選択必修
		仏 教 と 生 命 倫 理	2			
仏 教 と 平 和 学	2					
社 会 理 論 と 社 会 シ ス テ ム	2					
心 理 学 概 論	2					
経 済 学 概 論	2					
ポ ラ ン テ ィ ア 論	2					
ポ ラ ン テ ィ ア 活 動	2					
文 学 部 門	日 本 文 学 概 論 I	2	4 単位以上選択必修			
	日 本 文 学 史 (上 代 ・ 中 古)	2				
	日 本 文 学 史 (中 世)	2				
	日 本 文 学 史 (近 世)	2				
	日 本 文 学 史 (近 現 代)	2				
	日 本 文 学 (上 代 ・ 中 古)	2				
	日 本 文 学 (中 世)	2				
	日 本 文 学 (近 世)	2				
	日 本 文 学 (近 現 代)	2				
	中 国 文 学 概 論 I	2				
中 国 文 学	2					
中 国 文 学 史	2					
イ ン ド 文 学	2					

別表 VI (精神保健福祉士受験資格課程科目)

○精神保健福祉士受験資格に関する専門科目

法 定 基 準	本 学 基 準		
指 定 科 目	授 業 科 目	単 位 (時 間)	備 考
人体の構造と機能及び疾病	人体の構造と機能及び疾病	2	3科目の内、 1科目選択 必修
心理学理論と心理的支援	心 理 学	2	
社会理論と社会システム	社会理論と社会システム	2	
現 代 社 会 と 福 祉	社 会 福 祉 総 論 I	2	必 修
	社 会 福 祉 総 論 II	2	必 修
地 域 福 祉 の 理 論 と 方 法	地 域 福 祉 の 理 論 と 方 法 I	2	必 修
	地 域 福 祉 の 理 論 と 方 法 II	2	必 修
社 会 保 障	社 会 保 障 論 I	2	必 修
	社 会 保 障 論 II	2	必 修
低所得者に対する支援と生活保護制度	低所得者に対する支援と生活保護制度	2	必 修
福祉行財政と福祉計画	福祉行財政と福祉計画	2	必 修
保健医療サービス	保健医療制度	2	必 修
権利擁護と成年後見制度	権利擁護と成年後見制度	2	必 修
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	障害者に対する支援と障害者自立支援制度	2	必 修
精 神 疾 患 と そ の 治 療	精 神 医 学 I	2	必 修
	精 神 医 学 II	2	必 修
精 神 保 健 の 課 題 と 支 援	精 神 保 健 学 I	2	必 修
	精 神 保 健 学 II	2	必 修
精神保健福祉相談援助の基盤 (基礎)	ソーシャルワーク論 I	2	必 修
	ソーシャルワーク論 II	2	必 修
精神保健福祉相談援助の基盤 (専門)	精神保健福祉相談援助の基盤 (専門)	2	必 修
精神保健福祉の理論と相談援助の展開	精神保健福祉の理論と相談援助の展開 I	2	必 修
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開 II	2	必 修
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開 III	2	必 修
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開 IV	2	必 修
精神保健福祉に関する制度とサービス	精神保健福祉に関する制度とサービス I	2	必 修
	精神保健福祉に関する制度とサービス II	2	必 修
精神障害者の生活支援システム	精神障害者の生活支援システム	2	必 修
精神保健福祉援助演習 (基礎) (30)	精神保健福祉援助演習 (基礎)	2 (30)	必 修
精神保健福祉援助演習 (専門) (60)	精神保健福祉援助演習 (専門) I	2 (30)	必 修
	精神保健福祉援助演習 (専門) II	2 (30)	必 修
精神保健福祉援助実習指導 (90)	精神保健福祉援助実習指導 I	1 (30)	必 修
	精神保健福祉援助実習指導 II	1 (30)	必 修
	精神保健福祉援助実習指導 III	1 (30)	必 修
精神保健福祉援助実習 (210)	精神保健福祉援助実習 I	2 (90)	必 修
	精神保健福祉援助実習 II	2 (90)	必 修
	精神保健福祉援助実習 III	1 (45)	必 修

別表 VII (学芸員資格課程科目)

○学芸員資格に関する専門科目

区分	法定基準		本学基準		
	科目	単位	授業科目	単位	備考
必修科目	生涯学習概論	2	生涯教育Ⅰ(生涯学習概論を含む。) 生涯教育Ⅱ(生涯学習概論を含む。)	2 2	
	博物館概論	2	博物館概論	2	
	博物館経営論	2	博物館経営論	2	
	博物館資料論	2	博物館資料論	2	
	博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	2	
	博物館展示論	2	博物館展示論	2	
	博物館情報・メディア論	2	博物館情報論	2	
	博物館教育論	2	博物館教育論	2	
	博物館実習	3	博物館実習Ⅰ 博物館実習Ⅱ	2 1	
選択科目	I		比較文化論	2	I～IVの各区分より1科目以上、12単位以上
			日本文化史(古代・中世)	2	
			日本文化史(近世・近現代)	2	
			日本文化史(思想史)	2	
	II		美学	2	
			仏教美術	2	
			アジア美術	2	
	III		日本文化史(民俗学)	2	
		アジア芸能	2		
IV		古文書基礎学	2		
		書誌学	2		

別表 VIII (社会教育主事資格課程科目)

○社会教育主事資格に関する専門科目

法定基準		本学基準		
科目	単位	授業科目	単位	備考
生涯学習概論	4	生涯教育 I	2	必修
		生涯教育 II	2	必修
社会教育計画	4	生涯教育計画 I	2	必修
		生涯教育計画 II	2	必修
社会教育実習、社会教育演習又は社会教育課題研究のうち一以上の科目	4	社会教育演習	2	必修
		社会教育課題研究	2	必修
社会教育特講 I (現代社会と社会教育)	12	社会理論と社会システム	2	2科目4単位 必修
		社会調査の基礎	2	
		国際社会福祉論	2	
		環境学概説	2	
社会教育特講 II (社会教育活動・事業・施設)	12	ボランティア論	2	2科目4単位 必修
		ボランティア活動	2	
		地域福祉の理論と方法 I	2	
社会教育特講 III (その他必要な科目)	12	教育心理学	2	2科目4単位 必修
		発達教育学	2	
		臨床心理学 I	2	

別表 IX (介護福祉士受験資格課程科目)

○介護福祉士受験資格に関する専門科目

法定基準		本学基準			
領域	科目(教育内容)	授業科目	単位数	時間数	備考
人間と社会	人間の尊厳と自立(30時間以上)	人間の尊厳と自立	2	30	必修
	人間関係とコミュニケーション(30時間以上)	ソーシャルワーク論 I	2	30	必修
		社会の理解(60時間以上)	生活と福祉	2	30
	社会保障論 I		2	30	必修
	障害者に対する支援と障害者自立支援制度		2	30	必修
	介護福祉		2	30	必修
人間と社会に関する選択科目	福祉サービスの組織と経営		2	30	2科目 選択必修
	社会調査の基礎		2	30	
	社会福祉総論 I		2	30	
	社会福祉総論 II		2	30	
小計(240時間以上)		小計		240	

法定基準		本学基準			
領域	科目（教育内容）	授業科目	単位数	時間数	備考
介護	介護の基本（180時間）	介護概論	2	30	必修
		身体障害をもつ人への支援	2	30	必修
		知的障害をもつ人への支援	2	30	必修
		高齢者の介護	2	30	必修
		介護倫理と地域連携	2	30	必修
		介護システム論	2	30	必修
	コミュニケーション技術（60時間）	支援コミュニケーション技術	2	30	必修
		チームコミュニケーション技術	2	30	必修
	生活支援技術（300時間）	障害に応じた支援1	2	30	必修
		障害に応じた支援2	2	30	必修
		生理的ニーズへの介護	2	30	必修
		セーフティニーズへの介護	2	30	必修
		生活とケア	2	30	必修
		生活リハビリとレクリエーション	2	30	必修
		介護基礎技術演習	2	30	必修
		家政と被服	2	30	必修
		家事援助技術	2	30	必修
	介護と住環境	2	30	必修	
	介護過程（150時間）	介護過程の構成要素	2	30	必修
		高齢者の介護過程展開	2	30	必修
		障害者の介護過程展開	2	30	必修
		在宅生活者の介護過程展開	2	30	必修
		精神障害者の介護過程展開	2	30	必修
	介護総合演習（120時間）	社会福祉基礎演習Ⅱ	2	30	必修
		介護福祉総合演習1	1	15	必修
		介護福祉総合演習2	1	15	必修
		介護福祉総合演習3	1	15	必修
介護福祉総合演習4		1	15	必修	
介護福祉総合演習ケーススタディ		2	30	必修	
介護実習（450時間）	介護福祉実習Ⅰ－1	1	45	必修	
	介護福祉実習Ⅰ－2	3	135	必修	
	介護福祉実習Ⅰ－3	2	90	必修	
	介護福祉実習Ⅱ	4	180	必修	
小計（1260時間）	小計		1260		

法定基準		本学基準			
領域	科目（教育内容）	授業科目	単位数	時間数	備考
こころとからだのしくみ	発達と老化の理解（60時間）	心 理 学	2	30	必修
		発 達 と 老 化 の 理 解	2	30	必修
	認知症の理解（60時間）	認 知 症 の 理 解 1	2	30	必修
		認 知 症 の 理 解 2	2	30	必修
	障害の理解（60時間）	障 害 の 理 解 1	2	30	必修
		障 害 の 理 解 2	2	30	必修
	こころとからだのしくみ（120時間）	人体の構造と機能及び疾病	2	30	必修
		こころとからだのしくみ1	2	30	必修
		こころとからだのしくみ2	2	30	必修
		こころとからだのしくみ3	2	30	必修
小計（300時間以上）		小 計		300	
医療的ケア	医療的ケア（50時間以上）	医 療 的 ケ ア 1	2	30	必修
		医 療 的 ケ ア 2	2	30	必修
		医 療 的 ケ ア 3	1	15	必修
	小計（50時間以上）		小 計		75
合計（1850時間）		合 計		1875	

別表 X (社会福祉士受験資格課程科目)

○社会福祉士受験資格に関する専門科目

法定基準		本学基準	
指定科目	授業科目	単位 (時間)	備考
人体の構造と機能及び疾病	人体の構造と機能及び疾病	2	} 3科目の内、 1科目選択必修
心理学理論と心理的支援	心理学	2	
社会理論と社会システム	社会理論と社会システム	2	
現代社会と福祉	社会福祉総論Ⅰ	2	必修
	社会福祉総論Ⅱ	2	必修
社会調査の基礎	社会調査の基礎	2	必修
相談援助の基盤と専門職	ソーシャルワーク論Ⅰ	2	必修
	ソーシャルワーク論Ⅱ	2	必修
相談援助の理論と方法	ソーシャルワークの方法Ⅰ	2	必修
	ソーシャルワークの方法Ⅱ	2	必修
	ソーシャルワークの方法Ⅲ	2	必修
	ソーシャルワークの方法Ⅳ	2	必修
地域福祉の理論と方法	地域福祉の理論と方法Ⅰ	2	必修
	地域福祉の理論と方法Ⅱ	2	必修
福祉行財政と福祉計画	福祉行財政と福祉計画	2	必修
福祉サービスの組織と経営	福祉サービスの組織と経営	2	必修
社会保障	社会保障論Ⅰ	2	必修
	社会保障論Ⅱ	2	必修
高齢者に対する支援と介護保険制度	高齢者福祉論	2	必修
	介護福祉	2	必修
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	障害者に対する支援と障害者自立支援制度	2	必修
児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	児童・家庭福祉総論	2	必修
低所得者に対する支援と生活保護制度	低所得者に対する支援と生活保護制度	2	必修
保健医療サービス	保健医療制度	2	必修
就労支援サービス	就労支援サービス	1	} 3科目の内、 1科目選択必修
権利擁護と成年後見制度	権利擁護と成年後見制度	2	
更生保護制度	更生保護制度	1	
相談援助演習 (150時間)	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2 (30)	必修
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	2 (30)	必修
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	2 (30)	必修
	ソーシャルワーク演習Ⅳ	2 (30)	必修
	ソーシャルワーク演習Ⅴ	2 (30)	必修
相談援助実習指導 (90時間)	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	1 (30)	必修
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	1 (30)	必修
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	1 (30)	必修
相談援助実習 (180時間)	ソーシャルワーク実習	4 (180)	必修

別表 XI

○学費一覧表

種 別	入 学 時	2 年 次 以 降	備 考
授 業 料	700,000円	700,000円	年 額
教育充実費	340,000円	340,000円	年 額

種 別	入 学 時	備 考
入 学 金	190,000円	入学時のみ 同朋大学卒業生・修了生は免除する。

1. 平成23年度以前の入学者の学費は、従前の例による。
2. 留年者等の学納金は別に定める学校納付金納付規則による。
3. その他の費用については、別に定める。

別表 XII

○入学検定料

入 学 検 定 料	35,000円
-----------	---------